

中間評価

1. データヘルス計画とは

【計画の目的】

生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進により、医療費の適正化及び保険者の財政基盤の強化を図ることを目的とした計画です。

【計画の期間】

平成 30 年度～令和 5 年度の 6 年間を計画期間としています。

中間評価の目的

個別の保健事業については事業計画にて毎年度評価を行い、必要に応じて実施内容の見直し等を行っています。本計画全体の評価は令和 5 年度中に行うこととしていましたが、進捗状況の確認を行い、令和 5 年度の目標達成に向けた計画内容の見直しや改善点等を検討するため、中間評価を行うこととしました。

計画策定時の市国保の健康課題

- 40～64 歳の若い世代の特定健診受診率が低い
- 健診未受診・未治療の人が多く、心疾患・脳血管疾患の死亡率が高い
- メタボ該当率が高く、生活習慣病になる危険性が高い人が多い
- 腎不全・糖尿病による死亡率が高い
- 人工透析にかかる年間医療費は 1 億円以上



中・長期目標

- | | |
|------------------------------------|---------------------------|
| ① 特定健診受診率の向上 | 60%以上 |
| ② 特定保健指導実施率の向上 | 60%以上 |
| ③ 特定保健指導対象者の減少
(保健指導対象者/受診者の割合) | 平成 20 年度対比で 25%減少(11.25%) |
| ④ 成人肥満(BMI25 以上)の割合の減少 | 男性 38% 女性 24% |
| ⑤ 糖尿病を原因とする人工透析患者数の減少 | 10 人以下 |



2. 対策の実施状況

特定健診受診率向上のための取組

- 早期からの健診受診週間の定着化のため、40歳の新規対象者と41歳の前年度未受診者を対象に訪問や電話による個別受診勧奨を行っています。
- 若い世代(40～50歳)の受診行動の促進を目的とし、特典サービス(市内運動施設や温泉施設の利用券、調理講習の無料体験)を提供し、受診の動機付けや次年度以降の継続受診意欲につながっています。
- 集団健診時期に合わせ、未受診者に対し受診勧奨ハガキを送付しています。
- 定期的に医療機関に受診している方や職場健診等受診者には、検査結果の提出について案内し、被保険者の健康状態の把握と受診率向上に取り組んでいます。

特定保健指導の実施

- 特定健診の結果、生活習慣病のリスクが重複しているハイリスク者に対し、結果相談会や、個別面談、訪問など個々の状況に合わせて保健指導介入し、北海道と比べ高い水準で保健指導を実施しています。

糖尿病性腎症重症化予防の取組

- 「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」「後期高齢者の重症化予防等推進事業」に取り組み、個々の状況に合わせた個別支援を実施。「北空知糖尿病療養連携システム」を活用し、かかりつけ医療機関と連携した保健指導介入を行っています。
- 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」として、高齢者支援課と連携し後期高齢者健康診査にて重症化予防が必要な対象者の健康状態を把握し、ハイリスクアプローチに取り組んでいます。

医療受診勧奨

- 特定健診受診者のうち、精密検査が必要となった方に保健師より個別に電話にて受診の勧奨を行い、特定健診の受診結果と合わせて案内の手紙を送付しています。

3.目標の達成状況

中・長期目標

①②特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上

【目標値】60.0%

【現 状】特定健診受診率は道に比べると高いですが、目標の60.0%を達成できておらず、低下傾向にあります。特定保健指導率はH30年度以降目標達成を維持しています。

	特定健診受診率		特定保健指導実施率	
	深川市	道	深川市	道
H29	39.4%	28.1%	33.3%	33.5%
H30	40.4%	29.5%	50.9%	34.8%
R1	39.0%	28.9%	53.5%	36.0%
R2	33.1%	27.0%	51.4%	33.8%

<法定報告値>

③特定保健指導対象者の減少

【目標値】平成20年度対比で25%減少(11.25%)

【現 状】特定保健指導対象者は概ね横ばいの状態ですが、R2年度はH20年度と比べ、39.3%の減少がみられており、目標は達成しています。

	深川市	道
H20	15.0%	
H29	10.6%	11.6%
H30	10.5%	11.6%
R1	11.0%	11.3%
R2	9.1%	11.7%

<法定報告値>

④成人肥満(BMI指数25以上)の割合の減少

【目標値】男性:38.0% 女性:24.0%

【現 状】成人肥満の傾向は、男女ともに目標は達成できておらず、特に男性はH30年度以降増加傾向であり、国や道と比べても高い割合となっています。

	男性			女性		
	深川市	道	国	深川市	道	国
H29	38.7%	36.6%	31.4%	23.6%	23.6%	21.0%
H30	40.4%	37.4%	32.3%	24.5%	24.0%	21.3%
R1	42.0%	38.0%	32.8%	25.0%	24.3%	21.6%
R2	42.2%	39.6%	34.4%	24.7%	25.2%	22.3%

<厚生労働省様式(様式5-2)>

⑤糖尿病を原因とする人工透析患者数の減少

【目標値】10人以下

【現 状】人工透析患者数は、目標設定のベースラインとしたH27年度よりも減少していますが、人工透析患者数(母数)は横ばいの状態です。

H27	H28	H29	H30	R1	R2
10人/21人 (47.6%)	6人/16人 (37.5%)	2人/24人 (8.3%)	6人/20人 (30.0%)	4人/18人 (22.2%)	5人/21人 (23.8%)

<厚生労働省様式(様式3-7)>

4.課題整理と対策等

①特定健診受診勧奨の強化

特定健診受診率が低下傾向にあるため、健康意識や生活への改善のきっかけとなるよう、特定健診の受診勧奨の強化を図ります。

□対象者に応じた受診勧奨の継続

若い世代への電話・訪問等による受診勧奨を継続します。また、特定健診受診率向上支援等共同事業の活用し、対象者の健康意識タイプに応じた未受診者勧奨ハガキの送付等を行っていきます。

□結果提出(みなし健診)の受診

医療定期受診や人間ドック等の受診で特定健診項目を満たしている対象者へ検査結果提出を案内します。

②成人肥満と医療費が高額になる脳・心・腎疾患への重症化予防

特定保健指導対象者の割合は減少傾向にありますが、成人肥満の割合は高い状態が続いており、糖尿病性腎症者数も横ばいの状態です。優先的に介入すべき対象者を絞り、効果的な指導を実施していく必要があります。

□ハイリスク者の明確化と状況把握

健診受診者のうち、高血圧・高血糖など優先的に介入すべきターゲットを明確化し、個々に合わせた指導介入を行います。重症化予防事業や北空知糖尿病療養連携システムの効果的な活用により、食事・運動療法など医療機関との連携による個別支援を実施していきます。

□働き盛り世代への保健指導方法の工夫

対象に応じた指導ツールや教室紹介など、効果的な保健指導を展開していきます。また保健指導終了後のフォロー体制を強化します。

5.今後の取組

中間評価の結果を踏まえ、目標値の再設定はせず、計画最終年度(令和5年度)まで目標継続することとします。

今後も継続して現行の目標達成を目指すとともに、健康で充実した生活を送るため、関係部署と情報を共有し、国民健康保険世代から後期高齢者世代への切れ目ない健康管理のための事業展開を行い、医療・保健・介護の連携を推進していきます。

今回の中間評価にあたり、国保運営協議会にて計画の進捗状況と中間評価の結果報告を行いました。また、北海道国保連合会の保険事業支援・評価委員会より助言を受け作成しました。